

# 第44回日本看護学会 - 地域看護 - 学術集会 抄録集

と き：2013年11月15日(金)・16日(土)

と ころ：フェニックス・プラザ

学術集会会長：樋村 禎子 (公益社団法人 福井県看護協会)

# あ い さ つ

第 44 回日本看護学会-地域看護-学術集会

会 長 樋村 禎子

本学術集会のメインテーマは、「未来へつなごう！『生活』そして『人生』を支える看護」と題しました。誰もが自分らしく健康づくり、予防活動、在宅療養ができるための方法論を具体的に見えるようにしていきたいと考えています。

特別講演Ⅰは、「地域を支える看護の力への期待」と題して福井大学医学部地域医療推進講座教授の寺澤秀一氏に講演をお願いしました。これからの地域医療・看護の方向性や、教育支援の実際など、看護師の地域医療に対する大きな期待が感じられる内容です。

シンポジウムは、「住み続けたいまちを私たちの手で。」と題して4人のシンポジストの方々に、地域包括支援センター（行政）、地域組織、医療機関、民間企業のそれぞれの立場からお話をさせていただきます。多職種や地域の力でどう具体化していったらいいのかを議論し、地方における地域包括ケアの一つの在り方を考える場になればと願っています。

特別講演Ⅱは、「訪問看護師の人材育成」と題して一般社団法人全国訪問看護事業協会事務局長の宮崎和加子氏に講師をお願いしました。訪問看護の魅力を多くの看護職や学生に知っていただき、新人看護師も意欲と信念を持って働ける場となるための実践についてご講演をいただきます。

特別講演Ⅲは、「地域に“寄りそ医”20年」と題して福井県おおい町名田庄診療所所長の中村伸一氏に講演をお願いしました。地域の医療は、地域の住民が医師を支え育てる。在宅で最期を迎えた人々に必要なサポートは何であったか、その関わりで保健、医療、福祉、行政を変え、地域が変わっていった様子が見えます。

「お互い様」の心を持った相互信頼が地域医療の在り方を変えていった経過が直接心に伝わる事と思います。

研究発表は、口演 65 題、示説 93 題を採択いたしました。発表者ならびに会場の皆様と活発な意見交換の場になりますようお願いしています。

この2日間の学術集会での気づきや学びが、日々の看護実践に活かされ、地域看護の発展と皆様が明日も看護で頑張ろうという気持ちになっていただければ幸いです。

平成 25 年をもって現行の 10 領域での学術集会は終了します。次年度より、新 7 領域へ再構成されますことをお伝えします。

学術集会の開催にあたりご支援・ご協力いただきました関係者の皆様に心から御礼申し上げます。

# 第44回 日本看護学会-地域看護-学術集会

学術集会テーマ：未来へつなごう！「生活」そして「人生」を支える看護

**第1日** 11月15日(金) フェニックス・プラザ

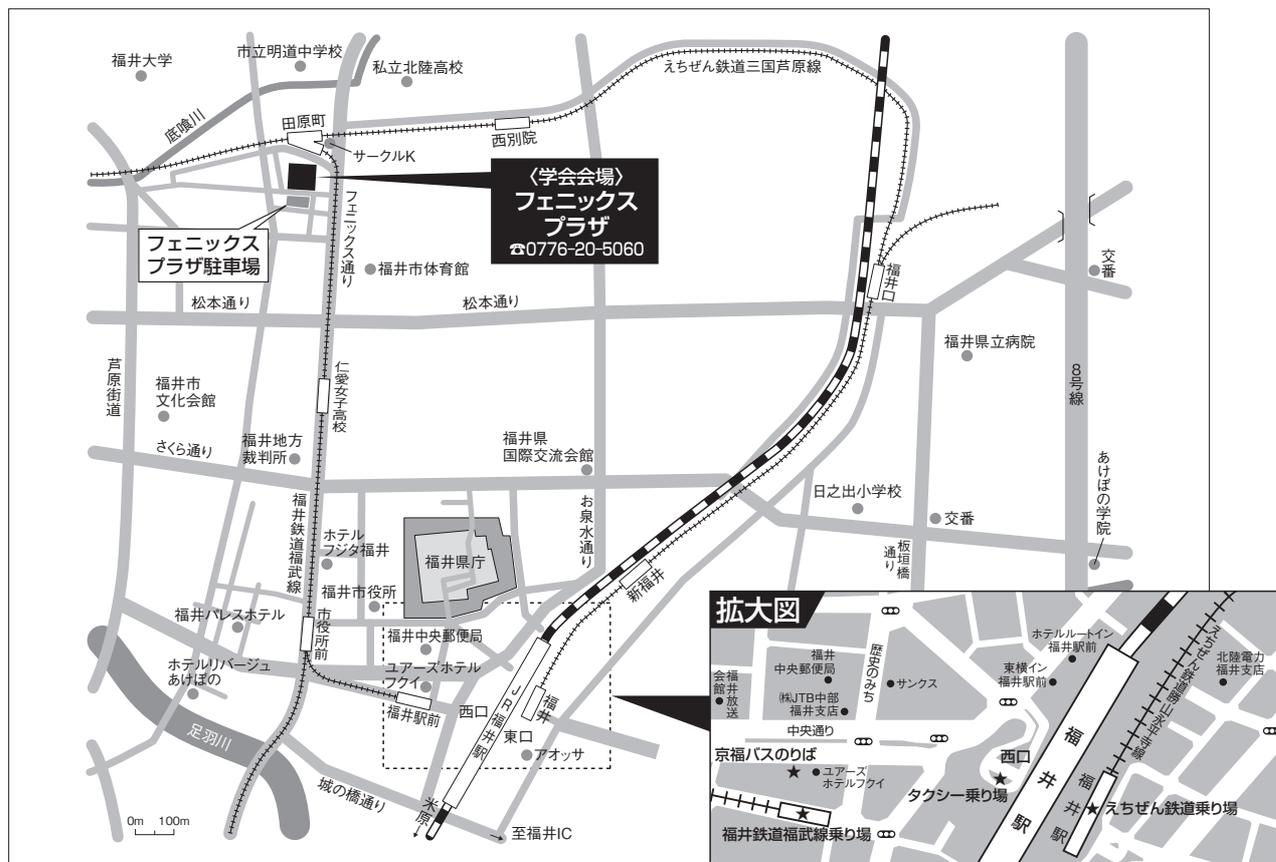
フェニックス・プラザ				
	第1会場 大ホール(1階)	第2会場 小ホール(2階)	第3会場 映像ホール(3階)	第4会場 大会議室(地下)
8:00				
9:00	受付開始			
10:00	9:50~ オリエンテーション 10:00~10:25 開会式			
11:00	10:30~12:00 特別講演 I 地域を支える 看護の力への期待 ～アセスメントの重要性～			
12:00	12:00~12:15 次期開催県紹介			
13:00	13:00~14:00 口演 第1群 地域保健活動①	13:00~14:00 口演 第2群 障がい者の訪問看護	13:00~14:00 口演 第5群 小児の在宅看護	13:00~14:00 示説 第8群 第9群 第10群
14:00	14:10~16:10 シンポジウム 住み続けたいまちを 私たちの手で。 ～地域連携を超えて地域包括 ケアシステムづくりへ～	14:05~15:05 口演 第3群 退院支援①	14:05~15:05 口演 第6群 在宅での看取り	14:05~15:05 示説 第11群 第12群 第13群
15:00		15:10~16:10 口演 第4群 在宅生活の支援	15:10~16:10 口演 第7群 他職種との連携	15:10~16:10 示説 第14群 第15群 第16群
16:00				13:30~16:00 東日本大震災復興支援事業
17:00				

**第2日** 平成25年11月16日(土) フェニックス・プラザ

フェニックス・プラザ				
	第1会場 大ホール(1階)	第2会場 小ホール(2階)	第3会場 映像ホール(3階)	第4会場 大会議室(地下)
8:00	8:15~ 受付			
9:00	8:55~ オリエンテーション 9:00~11:00	9:00~10:00 口演 第17群 退院支援②	9:00~10:00 口演 第20群 災害支援	9:00~10:00 示説 第23群 第24群 第25群
10:00	特別講演Ⅱ 訪問看護師の人材育成	10:05~11:05 口演 第18群 退院支援③	10:05~11:05 口演 第21群 難病患者への支援	10:05~11:05 示説 第26群 第27群 第28群
11:00		11:05~12:05 論文作成支援講座	11:10~12:10 口演 第19群 退院支援④	11:10~12:10 口演 第22群 地域保健活動②
12:00				10:00~11:30 東日本大震災 復興支援事業
13:00	13:00~15:00			
14:00	特別講演Ⅲ (公開講座) 地域に寄りそ医20年 ～地域住民と診療所医師の 強くて温かい絆の物語～			
15:00	15:00~15:15 閉会式			
16:00				
17:00				

# 会場までの交通案内

会場 フェニックス・プラザ 〒910-0018 福井市田原1丁目13番6号



## 交通のご案内

### \* 小松空港よりお越しの方

小松空港バスのりば4番から『空港連絡バス』が発着

JR 福井駅行き (到着便ごとに接続バスあり/所要時間約60分) にご乗車、福井駅東口下車。

以降は下記福井駅からの案内を参照

### \* 福井駅よりお越しの方

福井駅東口より『無料シャトルバス(学会会場行き)』が運行予定です。

詳細は日本看護協会ホームページをご参照ください。 <http://www.nurse.or.jp/nursing/education/gakkai/ichiran.html>

福井駅西口より『タクシー』にて会場まで、約5分

路面電車『福井鉄道(田原町方面)えちぜん鉄道(三国芦原線)』にて『田原町駅』下車、徒歩すぐ

※福井鉄道運行時間9時~15時

福井駅西口の京福バス乗り場(⑩または⑪)から、『京福バス30・31・38番系統』にご乗車いただき、『田原町停留所』

下車、徒歩すぐ

### \* お車でお越しの方

福井インターより約6.5km 約20分(関西方面からお越しの方)

福井北インターより約7km 約20分(金沢・富山方面からお越しの方)

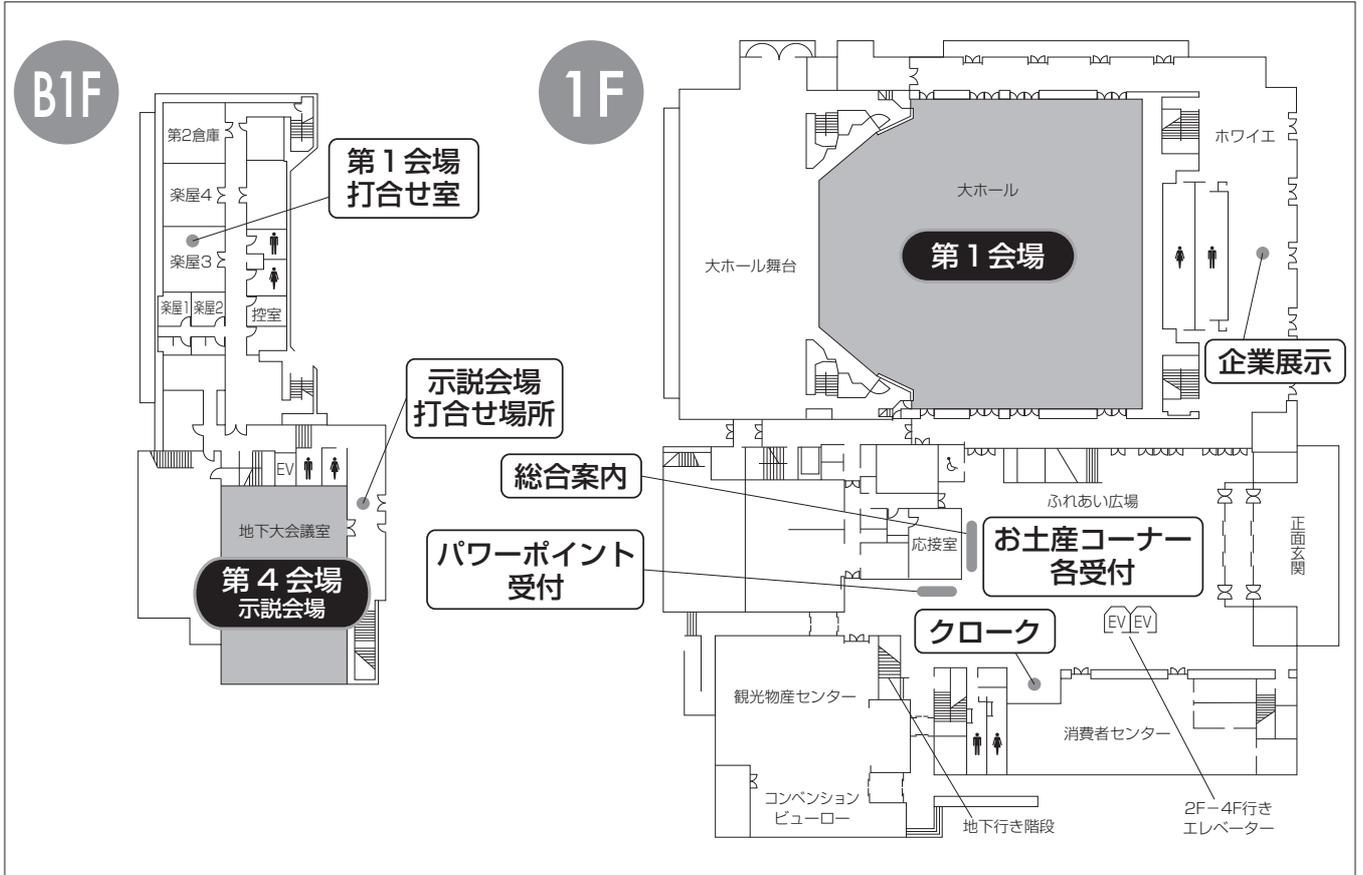
## 駐車場のご案内(会場隣接)

フェニックス・プラザ自動車駐車場(収容台数403台)

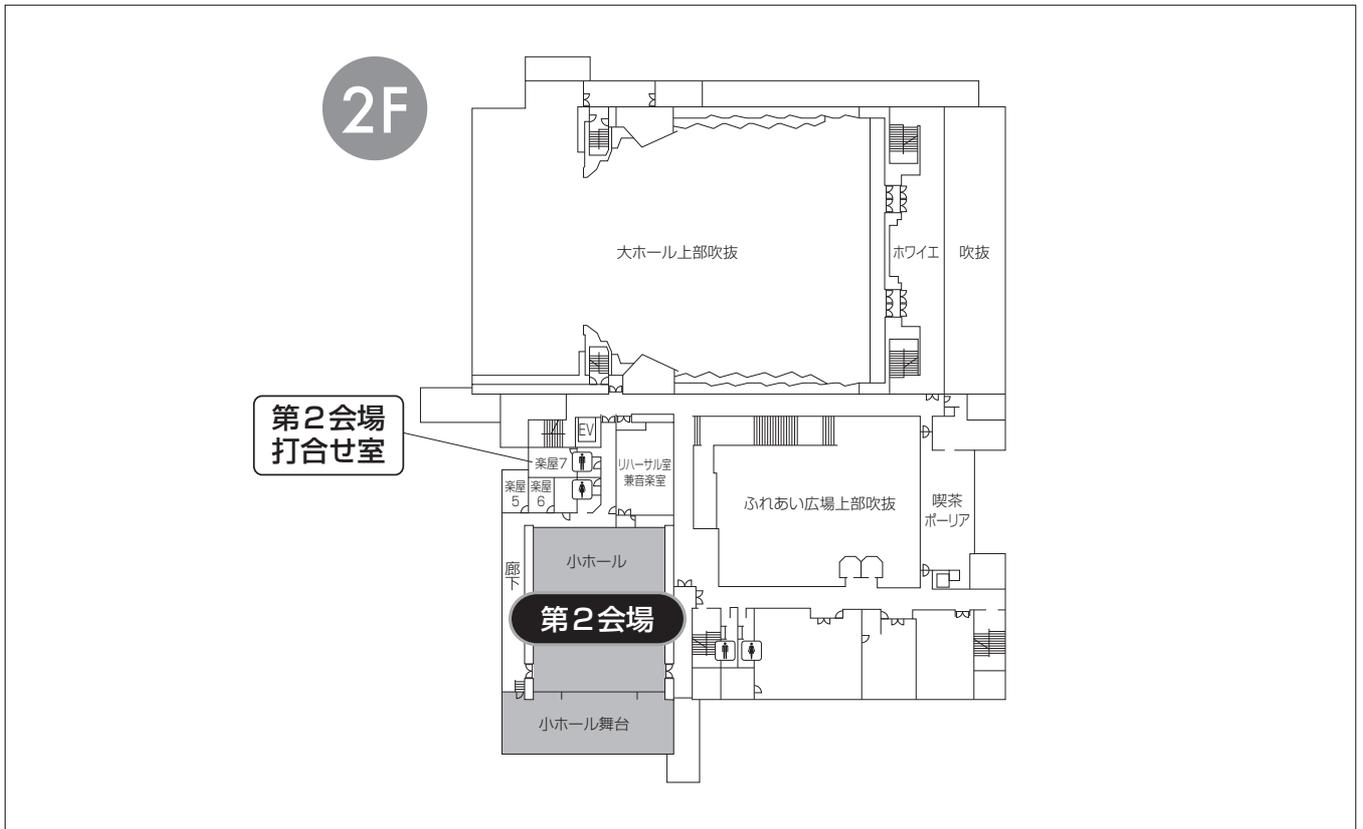
	利用時間	利用料金
昼間	7:30~22:30	最初30分無料 以降30分毎に100円加算
夜間(一泊)	21:00~翌日8:00	1,100円

# 会場案内図

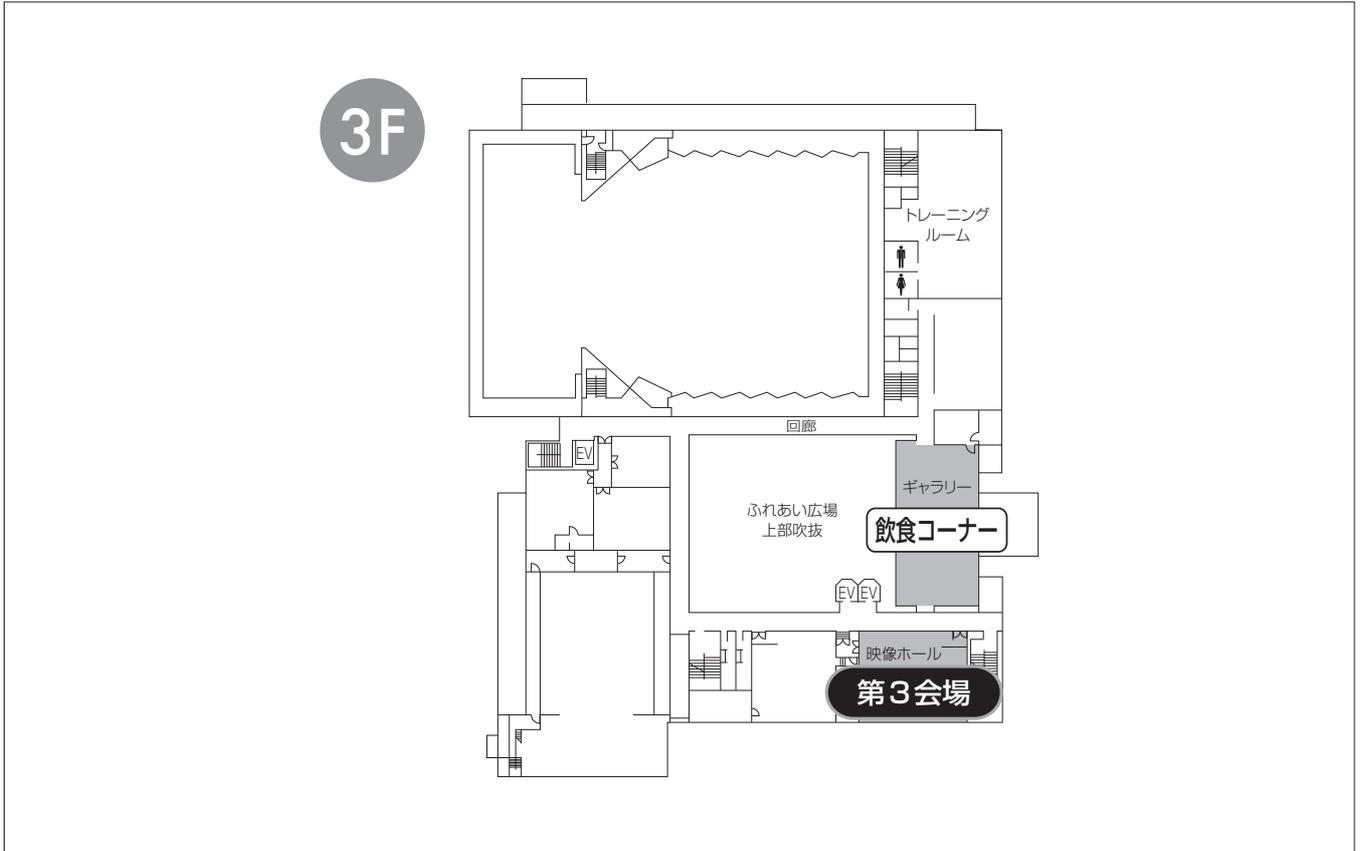
## 第1会場・第4会場



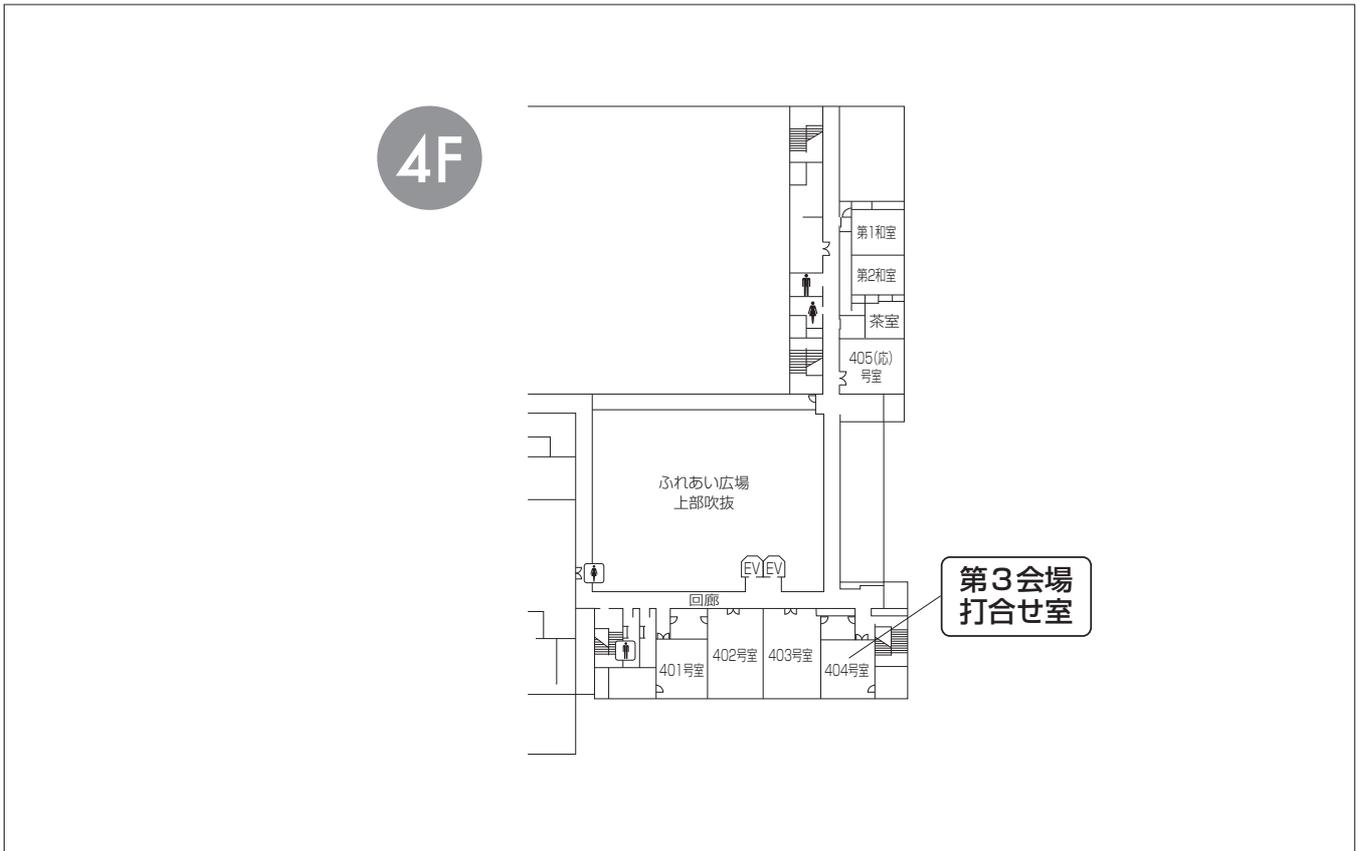
## 第2会場



### 第3会場



### その他



## 第44回日本看護学会-地域看護-学術集会 オリエンテーション

### 受付について

- 1) 2日間とも正面玄関より入場し、1階受付で参加券を提出してください。
- 2) 発表者の方は、正面玄関より入場し、一般受付を済ませた後、発表者受付へお越しください。
- 3) 座長の方は正面玄関より入場し、座長受付へお越しください。

### 参加券について

学会期間中は、先にお渡ししてある参加券に所属・氏名を記入し、受付でお渡しする紐に通して首から下げてください。

参加券のない方は再入場できません。

### 発表会場について

- 演／第1会場（1階 大ホール）  
第2会場（2階 小ホール）  
第3会場（3階 映像ホール）
- 示 説／第4会場（地下 大会議室）

### 口演・講演時の質問および発言について

- 1) 質問される場合は、お近くのマイクの前にお立ちください。
- 2) 発言の際は、座長の指示を受けて都道府県名・施設名・氏名の後に質問や意見を述べてください。
- 3) 口演1演題の発表時間は10分間です。各群の発表後に質問を受けます。

### 示説

- 1 演題の発表時間は5分間です。その後に意見交換していただきます。
- 1 群の待機時間は1時間です。3群が同時進行で発表します。

### 注意事項

- 1) 荷物は1階クロークでお預かりしております。(1日目9:00-16:40、2日目8:15-15:45)
- 2) 総合案内は1階にあります。
- 3) 原則として会場内の呼出しはいたしません。総合案内に伝言紙が用意してありますので、所定の用紙に記入してください。掲示板に掲示します。
- 4) 会場の椅子席に手荷物・資料等を置いて、余分な空席を取らないようにお願いします。
- 5) 全席禁煙となっておりますのでご理解とご協力をお願いします。
- 6) 報道・広報関係者以外の写真撮影・録画・録音については堅くお断りいたします。
- 7) お持ちの携帯電話、アラーム時計などはあらかじめ電源をお切りになるかマナーモードにしてください。
- 8) ゴミは所定の場所にお捨てください。会場を美しく使うようご協力ください。
- 9) 雨天の場合、雨傘は会場に用意しているビニール袋の中に入れてお持ちください。
- 10) 大ホール・小ホールでの昼食及び飲物は、階段席より前の客席部分でお願いします。

## 昼食

昼食弁当を注文された方は、11時から13時までに1階の所定の場所で昼食券と引き換えてください。また、空箱は同場所へお返しください。

## 非常避難

非常口は会場案内図で必ずご確認ください。

## その他

- 1)資料袋にアンケート用紙が入っております。出入り口付近に箱を用意いたしますのでお帰りの際にご投函ください。
- 2)救護室は総合案内へお尋ねください。
- 3)貴重品の管理は、各自で行ってください。忘れ物、落し物は総合案内へお尋ねください。

## 一般演題発表者の皆様へ

発表の詳細は、『演題登録システム』にログインし、マイページの「発表に関するお知らせ」(PDF)を必ず確認してください。

### 【口演】発表の皆様へ

#### 1. 発表受付

- 口演発表者は、一般受付後に「発表者受付」にて必ず受付を行ってください。
- 発表群の発表開始時間 30 分前にマイページに記載の場所に集合してください。
- 座長と発表に関する打ち合わせを行います。
- 発表用パワーポイントは、発表者受付終了後ただちに 1 階「パワーポイント受付」に持参してください。

#### 2. 発表について

- 発表時間は 1 演題 10 分間です。発表原稿はこの時間を超過しないよう準備してください。
- 抄録集の訂正を必要とする場合は、自分の発表時間内に訂正してください。

### 【示説】発表の皆様へ

#### 1. 発表受付

- 示説発表者は、一般受付後に「発表者受付」にて必ず受付を行ってください。
- 発表時間の 15 分前に会場前へ集合してください。進行係と発表について打ち合わせを行います。

#### 2. 発表について

- 発表者は原則として、掲示時間である 60 分間は発表会場に待機してください。発表に関する相談や進行は、会場の進行係がサポートします。
- 発表形態は質疑応答が基本です。参加者の質問や意見等に対応できる準備をしてください。
- プレゼンテーション（口頭説明）を行います。5 分でご自分の発表を説明できるように要約の準備をしてください。

#### 3. 掲示と撤去について

- 指定された区画に各自で掲示・撤去してください。
- 掲示・撤去時間は両日発表者とも以下のとおりです。

発表日	群	掲示準備時間	撤去時間
11 月 15 日（金）	第 8 群～第 16 群	9：30～10：00	16：10～16：40
11 月 16 日（土）	第 23 群～第 31 群	8：20～8：50	15：15～15：45

- 事務局で以下のものを会場内に用意しています。  
 ボード型掲示板：1 演題ごと 縦 180cm × 横 90cm  
 （うち、左上 20cm × 20cm のスペースに演題番号を事務局で用意しています）  
 物 品：画鋏、テープ、マジック、指示棒、はさみ

## 第44回日本看護学会 - 地域看護 - 学術集会

日本看護学会

学 会 長 坂 本 す が

日本看護学会 - 地域看護 - 学術集会

会 長 樋 村 禎 子

福井県看護協会学会準備委員

委 員 長	橘	幸 子
	長谷川	まゆみ
	寺 尾	洋 子
	山 本	裕 美
	林	宏 美
	堀	喜代子
	永 岩	里 美
	大久保	清 子
	酒 井	明 子
	角 田	敬 子
	大 枝	かよ子
	正 藤	露 子
	林	靖 子
	宇都宮	昌 江
	伊 與	さとみ

福井県看護協会学会委員

委 員 長	北	出	順 子
副 委 員 長	藤	井	真砂子
	笠	井	恭 子
	久	保	葉 子
	清	水	浩 美
	松	水	陽 子
	西	裏	陽 子
		澤	享 子

福井県看護協会抄録選考委員

委員長	久保葉子
	上野栄一
	深沢裕子
	吉川峰子
	富士光恵
	斎藤博子
	黒田たまき
	瀧下博美
	北出順子
	笠井恭子
	藤井真砂子
	清水浩美
	松裏陽子
	西澤亨子

## 協賛企業・団体

オムロンコーリン株式会社

株式会社 勝木書店

株式会社 共和

株式会社 ケルン

株式会社 竹虎

株式会社 トップ

株式会社 メルシー

公益財団法人 福井観光コンベンションビューロー

株式会社 大和工場

新鋭工業株式会社 金沢支店

東洋羽毛北信越販売株式会社北陸営業所

ニプロ株式会社

パラマウントベッド株式会社

松吉医科器械株式会社

(五十音順)

本学術集会を開催するにあたり、上記の企業・団体よりご協賛いただきました。  
ここに記し感謝の意を表します。

第44回日本看護学会-地域看護-学術集会  
会長 樋村 禎子

## 論文投稿のご案内

日本看護学会では、学術集会終了後に発表演題を論文としてまとめ、投稿することができます。投稿された論文は、選考を経て掲載が決まります。

次のページには、原稿の作成方法や守っていただきたいルールが記載されています。規程が守られていない場合は、投稿いただいても受付けることができませんので、規程をよく読んで投稿してください。



# 日本看護学会論文集投稿規程

## 1. 投稿者の資格

原則として公益社団法人日本看護協会会員に限る。ただし日本看護協会及び都道府県看護協会の看護職以外の調査、研究を担当する職員はこの限りではない。看護職以外で会員と共同研究を行った者は、共同研究者として投稿原稿に記名できる。

## 2. 対象とする原稿

次の項目をすべて満たしているものを対象とする。

- 1) 第44回日本看護学会学術集会で発表した研究であること。
- 2) 倫理的に配慮された研究内容であり、その旨が本文中に明記されていること。
- 3) 他の学会および研究誌（商業誌・所属施設の研究集録等を含む）、本学会の他領域へ投稿していないこと。

※倫理的配慮については、第44回日本看護学会実施要綱（以下、実施要綱）3ページ参照

## 3. 投稿手続き

本規程について了解のうえ、本会ホームページより所定の手順にて受付期間内に投稿手続きを行う。

## 4. 投稿の受付および採否

- 1) 上記3の手続きを経て、本規程を遵守した論文を受付ける。
- 2) 論文の採否は選考を経て学会委員会が決定する。
- 3) 学会委員会から修正を求められた場合は、指定期日までに再提出する。

## 5. 原稿の書式設定

- 1) 様式を本会ホームページよりダウンロードして原稿を作成する。  
※A4判に横書き、1行の文字数は35字、1ページの行数は30行、1ページ1,050字とする。
- 2) 本文の文字サイズは10.5ポイントとし、和文フォントは明朝体で全角、英文およびアラビア数字は半角とする。
- 3) 表紙・本文に氏名、所属名を記載しない。

## 6. 原稿執筆要領

- 1) 表紙には、「タイトル」・「キーワード」・「図表の添付枚数」を記載する。
  - (1) タイトルは簡潔明瞭に論文内容を表すものとする。
  - (2) キーワードは5つ以内とする。
- 2) 本文
  - (1) 文字数は本文・引用文献・図表を合わせ、スペースを含み7,000～8,400字程度（A4判横書き35文字×30行にて6枚半～8枚程度）とする。
  - (2) 本文・引用文献は、文中の空白を含めて1行につき35文字とカウントする。
  - (3) 原稿は和文・新かなづかいを用い、外国語はカタカナ表記、外国人名や日本語訳が定着していない学術用語等は原語にて表記する。
  - (4) 原稿は、「はじめに」・「目的」・「方法」・「倫理的配慮」・「結果」・「考察」・「結論」の項目別にまとめ、各項目にはローマ数字で番号をつける。また「はじめに」では、先行文献を検討した旨を明記し、倫理的配慮については実施要綱の3ページを参考にすること。
  - (5) 図表等の挿入希望位置を本文中（ ）にて指定する。  
<記載例> ……である（表1）。

### 3) 図表等

- (1) 本文・引用文献の後に、一括して掲載サイズで提出する。
- (2) 図表の大きさと文字数換算の割合は、原則として下記の3通りとする。  
図表A 4判用紙大 : 2,000字  
A 4判用紙半分 : 1,000字  
A 4判 1/4 : 500字
- (3) それぞれ通し番号とタイトルをつける。表番号と表タイトルは表の上、図番号と図タイトルは図の下に入れ、センタリングする。
- (4) 図表等は必要最小限の枚数に留める。ただし、図表等が占める割合は、論述部分の文字数の半分以下とする。
- (5) 白黒印刷で判別できる明瞭なものとする。

### 4) 引用文献

- (1) 引用文献は引用順に本文の引用箇所<sup>1)2)</sup>の肩に番号をつけ、本文原稿の最後一括して引用番号順に記載する。
- (2) 引用文献は次のように記載する。

#### 【雑誌掲載論文】

著者名：表題名，雑誌名，巻（号），頁，発行年（西暦年次）。

#### 【単行本】

著者名：書名（版），発行所，頁，発行年（西暦年次）。

著者名：表題名，編者名，書名（版），発行所，頁，発行年（西暦年次）。

#### 【翻訳書】

原著者名：書名（版），発行年，訳者名，書名（版），発行所，頁，発行年（西暦年次）。

#### 【電子文献】

著者名：表題名，雑誌名，巻（号），頁，発行年（西暦年次），アクセス年月日，URL。

発行機関名（調査/発行年次），表題，アクセス年月日，URL。

※公的機関から提供される情報（統計、法令等）、電子ジャーナルのみを対象とする

- (3) 共著者は3名まで表記し、それ以外は他とする。

## 7. 著作権

日本看護学会論文集に掲載された著作物（電子媒体への変換による利用も含む）の複製権、公衆送信権、翻訳・翻案権、二次的著作物利用権、譲渡権等は本学会に譲渡されたものとする。著作者自身のこれらの権利を拘束するものではないが、再利用する場合は事前に本学会宛に連絡をする。

## 8. 論文集の電子化

日本看護学会論文集をより広く会員に活用してもらうため、論文集の冊子を筆頭著者に1冊送付するほか、電子化された論文集を日本看護協会ホームページ（会員ダイレクト）に掲載する。

## 9. 諸注意

- 1) 投稿論文が他誌および本学会の他領域における論文集との重複投稿であると学会委員会が判断した場合には、いかなる時期にあっても受付および採択を取り消す。これに伴い発生した論文集の訂正等に要する費用は原則として投稿者が負担する。
- 2) 尺度等の使用許諾、図表等の転載許諾、商標登録物の使用許諾は著者があらかじめ得ておくこと。また、原則として薬品や検査器具等は一般名称を用い（ ）内に商品名と®を記載する。
- 3) 論文集に掲載の所属施設名、氏名は論文投稿時の表記どおりとし、共同研究者は全員の氏名を掲載順に記載する。

平成 25 年 4 月 1 日一部改正

第 44 回日本看護学会 - 地域看護 - 学術集会  
抄 録 集

2013 年 10 月 25 日

編 集 公益社団法人 日本看護協会看護研修学校  
教育研究部学会企画課

〒 204-0024 東京都清瀬市梅園 1-2-3

TEL 042-492-9120

発 行 公益社団法人 日本看護協会

〒 150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-8-2

印 刷 山口北州印刷株式会社